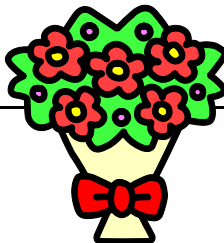
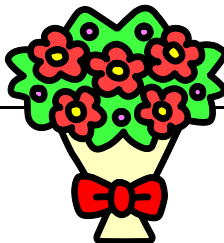


病名： アテローム血栓症 ・ 心原性 ・ ラクナ

担当医： 担当看護師：

月日	／ 1日目	／ ～ 2～3日目	／ ～ 4～6日目	／ ～ 7～14日目	／ ～ 15～30日目
検査	・採血、頭部CT、MRI、胸部レントゲン、心電図、心エコーなどの検査があります ・検査予定や検査に伴う食事の時間や変更は、検査前日の夕方に説明します 			・採血、頭部CT、MRI、などの検査があります ・検査予定や検査に伴う食事の時間や変更は、検査前日の夕方に説明します	
注射・内服	・持続的に点滴を行います ・常用している薬があれば、お知らせください 中止となるかそのまま続けていただくか主治医の指示により決まりますので必ず医師、看護師、薬剤師へ確認して下さい 		・状態に応じて点滴が減量となっていきます 	・内服薬管理について薬剤師より説明があります 	
安静度 リハビリ	・ベット上での安静となります 症状に応じて起き上がることができます ・症状が安定し、主治医の許可によりベット上座位、車椅子への移動可となります 必ず看護師が付き添いますのでひとりで動かずナースコールを押して看護師を呼んでください ・必要に応じて足の血栓予防のためにストッキングを履きます		・症状に応じてベット上でのリハビリが開始になります 理学療法士(担当：)、作業療法士(担当：)が行います ・機能の回復に応じてリハビリ室でのリハビリを行います 動きやすい靴(運動靴)を用意してください		
食事	・安静度に応じた姿勢で飲水、食事をしてもらいます ・水、お茶などの飲み込みに障害がないか確認します ・飲水された時にむせる場合は食事制限があります またトロミのついたお茶や食事内容、形態の変更を行います ・口からの飲水、食事が困難な場合は、鼻から栄養を注入する為の管を入れます		・回復機能に応じて食事形態、内容の変更をします 言語聴覚士(担当：)  		
排泄	・安静のため、尿器や便器を使用してベット上での排泄になります ・主治医の許可があれば、排便時のみ看護師付き添いにてトイレ誘導しますので必ずナースコールを押して看護師を呼んでください ・必要に応じて尿の管を入れることがあります		・機能の回復に応じてベットから活動範囲を広げるため、看護師付き添いでトイレ誘導してきます		
清潔		適宜、お体を拭いて着替えをします 		・症状に応じて、主治医の許可によりシャワー浴、入浴が可能となります ・必ず看護師へ確認して下さい また、麻痺がある場合、看護師が付き添います	
説明	・主治医より病状の説明をします ・看護師より入院生活について説明します ・治療に支障が伴う場合は、「身体抑制に関する説明及び同意書」の説明をします ・ベットより離床されるとき、必ずナースコールを押して看護師を呼んでください ・脳梗塞は、最初に症状が起きてから3～7日目に症状の変化(悪化)が起こりやすいために予定が変更することがあります ・ご質問、疑問等ありましたら医師、看護師へ遠慮なくお尋ね下さい 			・必要に応じて主治医より病状説明を行ないます ・退院に向けての調節を行っていきます 高度な障害、麻痺などにより自宅退院が困難な場合は、ソーシャルワーカーより適切な回復期リハビリ病院へ転院の相談をさせていただきます	